

ドナー登録等の促進について

## 横浜市の献血会場でのドナー登録会案内

横浜市健康福祉局  
保健事業課

# 献血

実施日 **7月26日(火)**  
**7月27日(水)**

受付時間 **10:00～16:00**  
(お昼休み11:30～12:45)

受付場所 **1階アトリウム**

新型コロナウイルスの感染対策について

献血会場における  
新型コロナウイルス  
感染対策について

マスク着用	検温実施	手洗い又は 手指消毒
事前予約	少人数で会場	十分な換気と適切な 消毒を実施
職員がマスク 着用し手指消毒	検温と体温異常の 確認	手洗いや手指の 消毒

骨髄ドナー登録会も  
同時開催しています。  
お気軽にどうぞ！

みなさまのご来場を  
お待ちしております。



伊勢原市役所駐車場で行ったドナー登録会

ドナー登録等の促進について

「20分で出来る骨髓バンクのドナー登録、生きるチャンスを善意によって広げていく」

<https://nagoya-city.note.jp/n/n85601284b19d>

名古屋市広報課が管理する名古屋市公式 note より



質問時使用パネル

港区の取組

ヤングケアラーに関する調査を実施

■調査対象

- ・区立小学校に通う全児童(約10,350人)

小学1年生から調査対象としている自治体は港区のみ！

国の調査で、世話を始めた年齢は中学2年生が「平均9.9歳」となっており、小学生(低学年)から家族の世話をしている子どもがいることが分かっている。

➡ 支援を必要としている家庭及び子どもの状況を正確に把握するため、小学校低学年も調査対象とする！

- ・区内在住の中学生及び高校生(中学生約5,800人、高校生約4,830人)
- ・高齢者・障害者・子育て家庭の支援に関わる事業所(約360事業所)

➡ 支援に携わっている事業所は、家庭への訪問を行う機会があり、家庭の状況を把握しやすいことから、サポートする側の視点での実態把握のために調査！

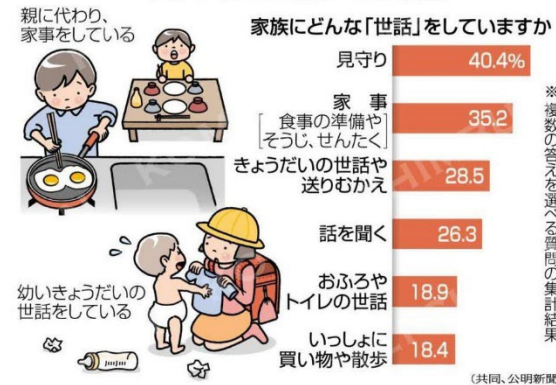
■調査期間 9月中旬～10月中旬(予定)

調査結果をふまえ、区と教育委員会が連携して、きめ細かで具体的な支援施策の検討・取組を進めていきます！

ヤングケアラーとは

大人に代わって、毎日のように家族の世話や家事をする18歳未満の子ども。  
家族に病気や障害のある人がいることも多い

小学6年生を対象にした調査



中高生を対象としたヤングケアラー全国調査

		世話をしている家族がいる	世話を必要としている家族	
中学2年	5.7% (約17人に1人)	きょうだい	61.8%	※厚生労働省と文部科学省の共同プロジェクトチームによる
		父母	23.5	
		祖父母	14.7	
		そのほか	3.8	
		無回答	9.4	
高校2年(全日制)	4.1% (約24人に1人)	きょうだい	44.3%	
		父母	29.6	
		祖父母	22.5	
		そのほか	5.5	
		無回答	8.8	

### 「ヤングケアラー・コーディネーター」の役割



**ヤングケアラー**

**コーディネーター**

- 福祉や医療、介護など適切な支援機関へのつなぎを行う専門職として自治体に配置される
- 関係機関からのヤングケアラーに関する相談に対して助言を行う
- 関係機関を対象に、研修を実施する
- 子ども食堂など民間団体と連携しヤングケアラーを把握する

質問時使用パネル



**福祉総合窓口で**

**障害ひとり親等**

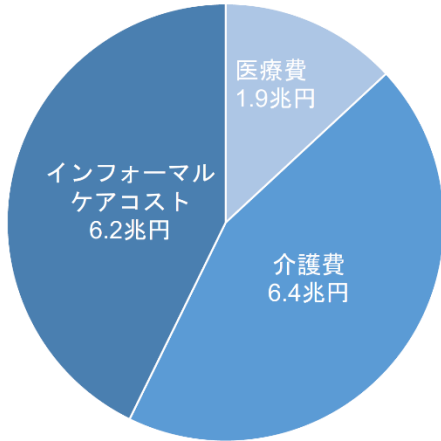
**コーディネーター活用を！**

**ヤングケアラー発見に**

軽度認知障害（MCI）の早期発見と対策について

①

認知症の社会的コスト

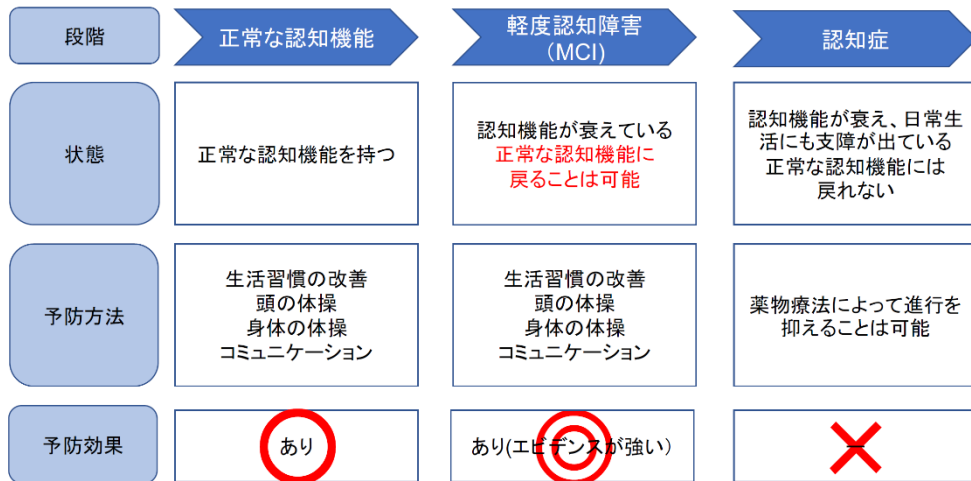


認知症患者の社会的コスト

年間約14.5兆円

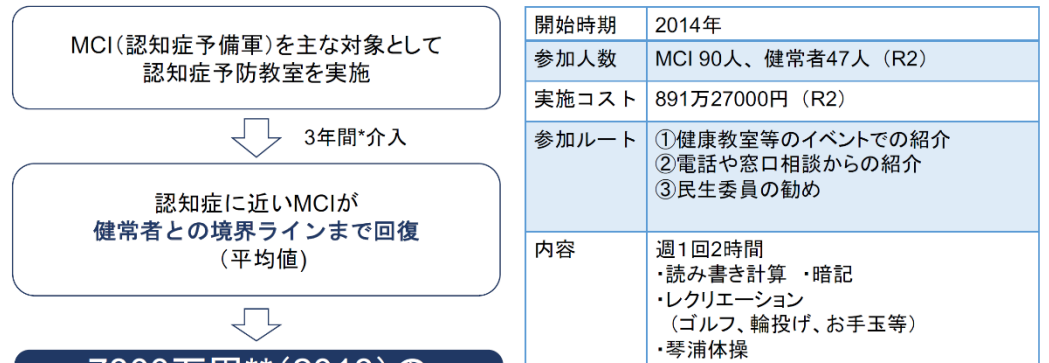
慶應義塾大学医学部の研究結果より

②



③

鳥取県琴浦町の認知症予防事業の事例



(琴浦町へのヒアリングと鳥取大浦上克哉教授の論文を基に作成)

鳥取県内外の23市町村が、この事業をモデルに  
認知症予防事業に取り組んでいる

\*3ヶ月の介入でも、その4割程度の効果を示した。  
\*\*開始年度(2014)は2360万円削減



## 東京都福祉保健局「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」

### 5 「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」をやってみましょう!



「ひょっとして認知症かな？」  
 気になり始めたら自分でチェックしてみましょう。  
※ご家族や身近な方がチェックすることもできます。

自分でできる 認知症の気づきチェックリスト	最もあてはまるところに○をつけてください。			
<b>チェック 1</b> 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック 2</b> 5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック 3</b> 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック 4</b> 今日が何月何日かわからないときがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点
<b>チェック 5</b> 言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか	まったくない 1点	ときどきある 2点	頻繁にある 3点	いつもそうだ 4点

<b>チェック 6</b> 貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック 7</b> 一人で買い物に行けますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック 8</b> バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック 9</b> 自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点
<b>チェック 10</b> 電話番号を調べて、電話をかけることができますか	問題なくできる 1点	だいたいできる 2点	あまりできない 3点	できない 4点

※このチェックリストの結果はあくまでもおおよその目安で医学的診断に代わるものではありません。  
 認知症の診断には医療機関での受診が必要です。  
 ※身体機能が低下している場合は点数が高くなる可能性があります。

チェックしたら、①から⑩の合計を計算 ▶ 合計点  点

20点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。  
 17ページで紹介しているお近くの医療機関や相談機関に相談してみましょう。

出典：東京都福祉保健局高齢社会対策部高齢支援課「知って安心」認知症（平成30年12月発行）

## 港区認知症ガイドブック (港区認知症ケアパス)

～簡易版～



### 認知症について理解しましょう

「認知症」は、高齢になるとよくある病気です。認知症への理解や予防が重要になっています。  
 港区では、認知症について病気の理解を深め、認知症が心配な高齢者やご家族等と早めに相談し、必要なサービスを受けることが出来るよう港区認知症ガイドブック（認知症ケアパス）を配布しています。  
 認知症という病気を知り、認知症の方が安心して暮らしていくために、周りの人がどのように支えていけるのかを知っていただき、考えるためのパンフレットとしてご活用ください。  
 認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるよう、認知症の方を理解し、受け入れ、支えあえる地域を皆さんと一緒に作っていききたいと思えます。

※港区認知症ガイドブック（港区認知症ケアパス）をご希望の方は、各高齢者相談センターにお問い合わせください。



# 中野区 もの忘れ検診

**期間** 令和4年9月1日～令和5年2月28日

**対象** 令和5年3月31日時点で、  
**70歳～75歳になる中野区民**  
※すでに認知症の診断を受けている方を除きます

## 検診の流れ



**申込書記布場所** もの忘れ検診実施医療機関、中野区役所6階4番窓口、区内地域包括支援センター(8か所)

**受診券申込先 (郵送・窓口)** **中野区役所**  
地域包括ケア推進課 もの忘れ検診担当  
電話：03-3228-5785

**問合せ**



地域型認知症予防事業	所管課	-				
		高齢者支援課				
<b>目的</b> 認知症の予防や発症を遅らせるため、有酸素運動等の認知症予防プログラムの講習会と脳の健康度テストを行い、高齢者の認知症予防に対する継続的な取組を推進します。						
<b>事業内容</b>						
(1) 対象						
① 地域型認知症予防実践活動 60歳以上で要介護・要支援認定を受けていない区民						
② 脳の健康度テスト 65歳以上の区民						
(2) 内容						
① 有酸素運動等の認知症予防プログラム						
② 脳の健康度テスト						
※認知症予防講話は令和3年度で終了しました。						
<b>根拠法令等</b> 介護保険法 港区地域支援事業実施要綱						
<b>開始時期</b> 平成17年4月						
<b>実績表</b>						
(1) 地域型認知症予防実践活動						
	年度	29	30	元	2	3
区分						
会場(か所)		2	2	1	1	1
実施回数(回)		12	12	12	12	14
参加人数(人)		13	11	9	6	33
延人数(人)		67	45	95	59	92
(2) 認知症予防講話及び脳の健康度テスト (単位 実施回数：回、参加人数：人)						
	年度	29	30	元	2	3
区分						
認知症予防講話	実施回数	2	2	2	2	2
	参加人数	26	16	9	12	7
脳の健康度テスト	実施回数	4	4	4	4	4
	参加人数	150	98	131	74	47
結果説明会	実施回数	2	2	2	2	2
	参加人数	83	70	73	23	29
補助金等	国負担	都負担	区負担	補助金名等	高齢社会対策区市町村包括補助事業補助金	
①・無	—	1/2	1/2			

軽度認知障害発見に  
チェックリスト促進を！

治療予防効果大  
活動参加促進を

The panel features a vertical layout of text. On the right, the text '軽度認知障害発見に' (For early detection of Mild Cognitive Impairment) is written in large, bold characters, with '軽度' in blue, '認知' in red, '障害' in red, and '発見に' in green. Below this, 'チェックリスト促進を！' (Checklist promotion!) is written in blue and green. On the left, a green vertical bar contains the text '治療予防効果大' (Large treatment/prevention effect) in yellow and '活動参加促進を' (Activity participation promotion) in white. Below the text is an illustration of a man with a brain exposed on top, looking at a clipboard with a checklist. The clipboard has several red checkmarks and a green question mark. There are also green question marks floating around the man's head.

質問時使用パネル